

フラクタルインパルス式 鳥獣害対策システム

従来の機器とは違い全く新しい害鳥獣対策システムです。
当社が長年、実験と調査を行ってきた技術とノウハウをシステムに採用し
絶対の安心と保証を提供いたします。



KEYON
ANIMALS DAMAGE PREVENTION SYSTEM

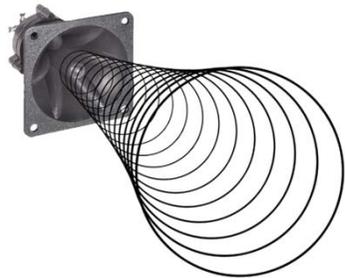
フラクタルインパルス式鳥獣害対策システム

フラクタルインパルス式は今までに無い全く新しい方式の鳥獣害対策システムです。
現在様々な形式の鳥獣害対策機器がありますが、どれも決定的な物が無い現状です。
一番の問題は動物達の学習能力による慣れの問題で、我々はその部分に焦点を合わせ開発を致しました。
このシステムは害鳥獣に合わせた衝撃波の波長を決して慣れる事ないように考慮して開発しており、
鳥獣の追い出し鳥の再飛来、野生動物の再進入を防止します。

フラクタルインパルス式とは？

フラクタルインパルス方式とは、当社が独自開発した野鳥・野生動物に有効な特種波動を発射する音源システムです。
不規則な高速パルスをマイコン・プログラムで生成し、対象動物に向けて発射することで、効果を発揮します。
毎回異なった高速パルスを生成しますので、慣れを生じさせることなく、鳥獣の追い出し・追い払いから、野鳥の再飛来、
野生動物の再侵入防止まで幅広く活用することが出来ます。

インパルス = 衝撃波



一般的に衝撃波とは、動く速さが波の伝わる速さ（音速）を超える時に振幅の大きな波が出来きます。その波を衝撃波と呼びます。

フラクタルインパルス方式は、その衝撃波と同等の効果を生み出すシステムです。

フラクタル = 不規則



フラクタルとは不規則と言う意味で、毎回異なるインパルスを生成します。
毎回、インパルス成分が異なりますので、慣れを生じさせません。

なぜ、野鳥・野生動物に有効なのか？

1 吃驚（おどろき）効果による忌避

野鳥・野性動物は小さな音にも敏感です。音に対する反応速度、応答速度は人間と比較にならないほど速く、彼らにとって従来の方式（電子音、忌避音等）はスローモーション程度にしか感じられず、すぐに対処法（＝慣れ）を覚えます。フラクタルインパルス方式による高速な立ち上がりのパルス（音）は、野鳥・野生動物に予期や予防が出来ない吃驚（おどろき）を与えます。

2 野鳥・野生動物が慣れ難い



フラクタルインパルス = 目の前にある複数の風船が膨らみながら割れて行く。

フラクタルインパルスの衝撃は、簡単に例えると、風船が割れるような感じです。目の前で風船が割れたら動物達も驚いて逃げてしまうでしょう。私達もあの音と衝撃にはなかなか慣れにくいものです。

フラクタルインパルス方式には、ランダム（不定期発生）要素を含みますので。

ランダム = いつ割れるか分からない。

フラクタル = いろいろな種類の風船。

インパルス = 目の前で風船が割れる。



フラクタルインパルス方式 = いつ割れるか分からない風船が目の前にある。

いつ割れるか分からない複数の風船が目の前にあると、気持ちが落ち着きません。しかも、常時、突然驚かされる環境を好む者はありませんので、フラクタルパルス方式の防除器を設置した場所は、永続的に防除効果を発揮します。

従来の方式・他社製品について

1 爆音機

爆音機や電子爆音機（プロパンガス等を使用する爆音機に代わる安全性を重視したもの）等、大音響による忌避機。至近距離にいる野鳥・野生動物には効果がありますが、タイマー動作のために発音するタイミングを覚えてしまい、喫驚効果は持続しません。大音量のために騒音が社会問題になっております。

2 ディストレスコール

鳥の悲鳴等を発声する装置。それ自体に鳥を追い払う効果はありません。大音量に反応して逃げているだけです。小音量ではまったく反応しません。繰り返し使用していると慣れてしまうため、効かなくなるというのはこのためです。騒音問題だけでなく、悲鳴という不快な環境を作り出してしまいます。

3 音声出力（忌避音）

野鳥・野生動物に対して嫌な音を発生して追い払うという機器です。ディストレスコールもこれに含まれますが、同じように大音量に反応して逃げるだけです。騒音問題や不快な環境を作り出します。

4 超音波

信号発生器による超音波発生（特定周波数の出力。あるいは周波数範囲のスweep出力）ですので、即効性はありません。長期間の連続使用で効果は得られますが、出力を大きくすると周辺環境には影響を与えますので、効果が出るような音量での使用が出来ません。

5 ロケット花火

実際に物体を飛ばし野鳥・野生動物を追い払う機器。当たると効果がありますが、当たる確率は低くそのうち慣れてしまいます。火薬を使うため危険な事と、ゴミが発生するので環境問題が生じます。

従来の方式・他社製品について

比較表

方式	喫驚効果	即効性	効果持続性	効果範囲	慣れにくさ	安全性
爆音機	◎	◎	○	～100m	△	×
ディストレスコール	○	○	×	～20m	×	○
音声出力(忌避音)	○	○	×	～20m	×	○
超音波式	×	○	×	～10m	×	○
ロケット花火	◎	◎	○	～10m	○	×
電機柵	◎	◎	◎	接触時のみ	◎	×
フラクタルインパルス	◎	◎	◎	最大500m	◎	◎

方式	騒音問題	環境問題	設置しやすさ	メンテナンス	維持費
爆音機	×	×	×	×	×
ディストレスコール	×	○	△	×	○
音声出力(忌避音)	×	○	△	×	○
超音波式	×	○	△	○	○
ロケット花火	×	×	×	×	×
電機柵	◎	×	×	×	○
フラクタルインパルス	○	○	○	◎	◎

◎非常に良い ○良い △普通 ×悪い

当社の技術とノウハウによる絶対の安心と保証

慣れを感じさせないシステム

従来の視覚への刺激（違和感）を利用した防除機はそれ自体が対象動物に対してアクションを起こさないためやがて慣れが生じ、効果がなくなります。
弊社のシステムはこれらの問題を考慮して、特殊超音波の周波数をランダムに変化させて、鳥獣の追い出し再飛来、野生動物の再進入を防止するシステムです。

効率よい喫驚効果

従来の視覚への刺激（違和感）を利用した防除機はそれ自体が対象動物に対してアクションを起こさないためやがて慣れが生じ、効果がなくなります。
弊社のシステムはこれらの問題を考慮して、特殊超音波の周波数をランダムに変化させて、鳥獣の追い出し再飛来、野生動物の再進入を防止するシステムです。

動物達にも優しい対策

被害が拡大しているとはいえ、野生鳥獣の取扱いについては、国から鳥獣保護法のため捕獲や傷つける事が禁じられています。
当社のシステムは電機柵や網を使わずに野生動物達を傷付ける事なく防除対策をいたします。